

簡易水質検査セット“水レスQ-Ⅱ”に収納されている水質測定器



1台で2項目測定。デジタル直読
携帯用残留塩素/pH計

MD100型

測定範囲：残留塩素 0.01~2mg/L, pH 6.5~8.4

寸法・質量：75W×155D×35H mm、約260g

電源：単4乾電池 4本

* IP68防水構造、試薬付



1台で濁度と色度をデジタル直読測定
デジタル濁度計

DTC-4DG型

測定範囲：濁度 0.0~20度, 色度 0.0~50度

寸法・質量：68W×145D×48H mm、約220g

電源：単4アルカリ電池 3本



シンプルで使いやすい。導電率電極式。塩分被害の目安としての測定もできます。

携帯用導電率(電気伝導率)計

SensoDirect Con110型

測定範囲：0.001~1.999mS/cm, 0.01~19.99mS/cm

寸法・質量：110W×208D×34H mm、約380g

電源：9V ブロック電池

* (単位の換算方法: 0.01mS/cm=1mS/m)

非常時などには飲用水の水質の安全性確認を目的に、受水槽滞留水、ポリタンク溜め置き水、井水(浅井戸)などについて、飲用に適するかどうかの判断を昼夜を問わず、現場で簡単に行なうことができます。

【非常時における水質試験項目】 * 上水試験方法“別冊”「震災等の非常時における水質試験方法」を元にまとめたものです。

水質試験項目	飲料水		水道水	
	①水道水	②井戸水等由来	③応急給水	④復旧給水
外観	◎	◎	◎	◎
臭気	◎	◎	◎	◎
濁度	◎	◎	★	◎
残留塩素	◎	—	◎	◎
大腸菌	★	◎	—	—
pH	★	★	★	★
電気伝導率(導電率)	★	★	★	★
味	◎	◎	◎	◎

◎：必須
★：必要に応じて実施

* 大規模災害直後等の非常時においては、飲用水が病原微生物に汚染されていないことの確認が必要であり、その指標として大腸菌試験がありますが、24時間の培養や設備が必要であるため、迅速に試験結果が得られる補完的な水質項目(外観、臭気、濁度、残留塩素、味、pH値、電気伝導率)を組み合わせ安全を確認する必要があります。また、水道水由来の水である場合は、残留塩素検査は大腸菌の極めて有効な代替指標となります。

- ①(水道水) 浄水処理された水道水が一定期間貯留されたもので、受水槽等貯水タンクに残った水、ポリタンク等に保存した水など
- ②(井戸水等由来) 浄水処理されていない水で、井戸水(浅井戸)、沢水、湧水など、汚染がなく飲用の可能性がある水
- ③(応急給水) 応急給水施設、給水車から給水される水で、浄水処理された水が水道施設から補給されることが前提であり、異常のない水道水であること
- ④(復旧給水) 復旧した配水施設から給水される水で、浄水処理された水を前提とする

本社 〒104-0053 東京都中央区晴海2-1-40 晴海プライムスクエア
TEL. 03(3812)9186(代) FAX. 03(3814)7538

大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-6-18 新大阪和幸ビル
TEL. 06(6392)1978(代) FAX. 06(6392)1971

URL <https://aqua-ckc.jp/>



飲用の適否判断に! 現場で簡単に正確な水質検査ができます。

簡易水質検査セット

* 日常の水質検査の他、

非常時用としても最適です。

水レスQ-Ⅱ

(みずレスキューⅡ)

測定項目：残留塩素、pH、濁度、色度、電気伝導率(導電率)

携帯型水質測定器および試薬等を一括して収納するとともに、採水器具、照明器具、ピーカー、洗浄ピンや“水”などの測定現場に必要な試験器材等をセットしたものです。飲用に適するかどうかの判断を昼夜を問わずに、現場で簡単に行なうことができます。

●セット構成内容 * 上水試験方法2011年版「別冊一震災等の非常時における水質試験方法」(2012年3月30日発行)に記載されている製品です。

測定器	導電率計、濁度/色度計、pH/残留塩素計 * すべてAC電源不要で電池で動作、使い方が簡単で正確な測定ができます。 各機器の詳細は裏面を参照ください。
携帯ケース (PELICAN™製)	とても堅牢で自動車に轢かれても、ゴロゴロと転がされてもつぶれない強度、そして、気密性・防水性の高い機材保護ケースです。色はどこでも目立つオレンジ色を採用。 ケース寸法：40.6×33×17.4cm 質量：2.9kg(ケースのみ)、約6.5kg(器材収納時)
試験器材	
・採水器(ロープ付)	採水量：約300mL、ステンレス製、ロープ長さ 約10m 底部を重くしているため、水の中へ投入しやすく、簡単に採水できます。当社特注品です。
・洗浄びん	・容量200mL。検査後のセルの洗浄用として使用。
・ピーカー(取手付)	・容量200mL、TPX™製。採水器から水質検査用に取り分ける等に使用。 検査対象の水の色や濁りを目視で確認、また、試飲して味や臭いをみるために使用。
・ミネラルウォーター(市販品)	容量500mL。校正用、セル等の洗浄用として使用。

その他備品

- ・残留塩素(DPD)試薬
- ・pH試薬
- ・水温計
- ・LEDライトスリム
- ・懐中電灯
- ・高吸水性タオル
- ・十徳ナイフ
- ・マジックペン
- ・予備電池
- ・密封収納ケース×4 など

* 商標登録 第5529813号





現場で簡単に、正確な水質検査 簡易水質検査セット

水レスQ-Ⅱ



公益社団法人 日本水道協会のWebサイト内「発行図書目録—震災等の非常時における水質試験方法（上水試験方法—別冊）」より→

「震災等の非常時における水質試験方法（上水試験方法—別冊）」

- 震災等の機器機材が不十分な状況下における活用
- 通常時の通水試験や苦情対応などの現場における活用
- 水質試験の専門家以外の方における活用

→携帯用の水質試験機器を用いた汎用的な試験方法を掲載

分類	
飲料水	ボトル水(市販のボトル水、水道事業者等の非常用備蓄水) 水道水由来(受水槽等貯水タンクに残った水、ホリタンク等に保存した水、風呂などへの汲み置き水など) 井戸水等由来(井戸水、沢水、湧水)
水道水	応急給水(応急給水施設、給水車から給水される水) 復旧給水(復旧した水道施設から給水される水)

(判定例)

```

    graph TD
      A[水道水由来の飲料水] --> B{外観、臭気}
      B -- 異常なし --> C{濁度}
      B -- 異常 --> B1[飲用不適]
      C -- 2度以下 --> D{遊離残留塩素}
      C -- 2度超過 --> C1[飲用不適]
      D -- 0.1mg/L以上 --> E{大腸菌}
      D -- 0.1mg/L未満 --> E
      E -- 検出 --> E1[飲用不適]
      E -- 検出せず --> F{pH値、電気伝導率}
      F -- 必要に応じて実施 --> F1[飲用不適]
      F -- 異常なし --> G{味}
      G -- 異常なし --> G1[飲用可]
      G -- 異常 --> G2[飲用不適]
  
```

<構成> ①序 ②飲料水編 ③水道水編 ④資料編

発行 平成24年3月	お申し込み先
定価 1,250円(税込)	日本水道協会 図書販売担当
体裁 B5版 115ページ	〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-9
	TEL 03(3264)2826 FAX 03(5210)2216

■水質検査手順

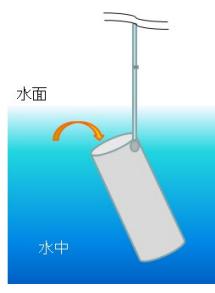
☆採水（サンプリング）

- ◎ピーカーで採水
- ◎ラク沈採水器を使用して採水

・ロープ長さ10m（1mごとに目印があり、高い場所や深い場所でも、おおよその高さ・深さがわかります。）

・底部におもりが仕込まれており、安定して水中投下でき、また、確実に底の部分から沈みます。

*材質：ステンレス製 採水容量：約300mL



①外観検査

異常の無いことを確認

判断基準：無色透明であること



②臭気検査

異常の無いことを確認

判断基準：異常でないこと

③濁度（色度）検査

汚濁物質の混入が無いことを確認

判断基準：濁度 2度以下
色度 5度以下



④残留塩素検査（水道水由来のサンプルの場合に検査）

消毒効果の保持を確認

判断基準：0.1mg/L以上



⑤pH検査

汚染が無いことを確認

判断基準：5.8以上8.6以下



⑥導電率検査

汚染が無いことを確認

判断基準：元の水道水から大きな変化がないこと

測定結果 0.1mS/cm（10mS/m）以下 → 良好

測定結果 0.4mS/cm（40mS/m）以下 → おおむね良好

*上水試験方法—別冊「井戸水等由来の飲料水の場合の判定の目安」より



⑦味検査

異常の無いことを確認

判断基準：異常でないこと

*①～⑤および⑦は、水道法水質基準より

●必要な器材を一体収納 [器材収納手順]



●携帯ケース

☆米軍にも使用されている
PELICAN製

☆堅牢でビクともしない



☆堅牢性
☆防水性
☆気密性に優れ、どんな場所でも目立つオレンジ色